

事業報告書 (令和3年度)

事業名 未来に生かす里山再生事業～南海トラフ地震への対策を旨として(6)～

団体名 就実・森の学校 担当者名 石田省三

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

本年度も新型コロナウイルス蔓延の影響により、例年実施してきた多くの行事を取りやめることとなり活動が大きく後退した。以下は本年度の主な活動

開催日時	行事名	参加者	備考
1 4/20	小学校里山探索	90	
2 4/27	こども園里山探検(年長組)	41	
3 6/17	笠井山整備	10	里山センター主催
4 6/20	第25回グリーンボランティア	29	里山(アカマツ林)再生活動
5 7/17	ナイトトレイルランニング	28	～18日、里山利用
6 10/5	就実小学校どんぐり遠足	85	小学校一、二年生
7 10/19	小学校野外生活体験	40	小学校3年生
8 10/19	就実こども園どんぐり拾い	75	4,5歳児
9 10/30	めがせ防災博士	15	公園協会、岡山市共同事業
10 10/31	富山音楽祭	100	
11 11/3	第26回グリーンボランティア	122	
12 11/20	せいな保育園(支援学級)	20	4歳児～小学5年
13 11/23	第27回グリーンボランティア	173	アカマツ林整備
14 12/14	共に活動	160	就実中学野外生活体験
15 12/15	幼児教育学生竹細工指導(1)	30	幼児教育で役立つ竹細工講習
16 12/20	幼児教育学生竹細工指導(2)	30	
17 12/21	幼児教育学生竹細工指導(3)	30	幼児教育で役立つ竹細工講習
18 1/25	里山生活体験(七輪)	45	竹炭利用

計 1,123名

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

里山で実施する様々な活動を通して、次世代を担う人たちに、里山再生活動の重要性を認識してもらうように努めてきた。今年度は本事業の重要課題の一つである防災に取り組んで8年目となるが、活動内容及び新たな視点からの取り組みについても報告する。

今年度も例年同様、避難地の整備、避難経路を維持するための道の整備、また緊急用エネルギー源として利用するために竹炭・木炭を焼成し、備蓄していく活動を実施した。この一連の活動は続けることに意義があり次年度も継続させていくことが決まっている。

また「就実・森の学校」の活動は緑の回復にも力を入れている。松食い虫被害により絶

減しつつあるアカマツ林の再生も重要課題の1つとして取り組んでおり一定の成果を上げているが、今年度はSDGsの目標のひとつである気候変動にも注目し、植林したアカマツの二酸化炭素吸収量を調査（岡山県二酸化炭素森林吸収評価認定制度による）し、中高生に気候変動と里山の関係性についても考えさせるよいきっかけとなった。この気候変動に対する活動も継続していくよう計画している。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

昨年度は高校2年生が防災について調査研究をすすめ、岡山市中区兼基町内会と防災協定を結ぶことができ、安心・安全な生活を保持していく方法を考え、学ぶことが出来るよい取り組みが出来た。今年度も同様の活動を計画したが、新型コロナの影響で、十分な活動が出来ず残念であったが、防災関連活動として、避難地の維持管理を中高生と共に実施し一定の成果を上げることは出来たと思っている。また制限された中ではあったが、ボランティア参加者が増加傾向であることからみて、本事業への理解と関心は高まりつつあると確信している。

4. 今後の課題と展望

防災に関する、今後の課題としては、避難地の設備の充実をまず上げておきたい。

今年度は台風により破損した避難用仮設テントの一部修繕をしたが、それぞれの施設設備が経年劣化してくる。これらの維持管理にはそれ相当の経費も必要であるが、この費用の捻出も課題の1つとして浮かび上がってくる。避難地は1万㎡程度であるが、できるだけ広い用地を確保するため、今年度、避難地南東の一角（約20m×50m）の竹を伐採し平坦地を造成した。また、避難してくるたちのための水の確保のため、大型タンクの設置を計画しているがいまだ実現していないのが実情である。次年度は水の確保を最大のテーマと設定し、バイオトイレの導入も検討したい。

里山再生事業を始めて11年目となるが、常に問題となるのが次世代への引継ぎ問題であると毎年報告してきた。次年度から就実中・高校では土曜講座が設定されることになり森の学校をフィールドとした様々なプログラムの設計が進行中である。この動きを大切に育てていくことが出来れば将来への展望が開けてくるものと思われる。